

# 岐阜農林事務所の普及活動状況

平成25年5月23日現在

## 今月の重点活動

### ■新技術実証

#### アイガモロボによる水稲除草技術実証の打合せ

4/23今年度羽島市で新技術実証事業として実施するロボット除草の試験工程について、また5/2には県下全体の事業の進め方について検討した。圃場内での旋回能力を改良し自動作業性能を高めたロボットを使用して現地検証を行う。5/24には田植え、5/27に第1回目の除草走行を実施した。



【アイガモロボット除草作業】

### ■営農指導支援

#### JA窓口・営農指導員への技術研修

営農指導担当者の技術力向上のために、4/24には水稲栽培について、5/14には野菜栽培についての技術研修を行なった。水稲栽培研修では今後の気象予測に基づいた育苗管理や本田管理・病虫害防除について、野菜栽培研修では肥料・農薬の基礎について講義した。



【JA 営農指導員への研修会】

今後、水稲では青空教室に、野菜では直売所の野菜研修等に応用され、現場指導の一役となる。

## 活力ある新産地づくり

### ■アスパラガス

#### 赤色防虫ネット e-レッドの展示実証試験

アスパラガスのハウス栽培において、難防除害虫であるアザミウマ類の外部からの侵入を“赤色で防ぐ”「サンサンネット e-レッド」の展示実証試験を進め、農薬に頼らない栽培技術を浸透させたいと考えている。

ネットの目合いが細くなるほど微小害虫の侵入は抑制されるものの、それに反して風通しが悪くなり、アスパラガスの生育不良の原因にもなるため、地域に適した活用方法を確立する。本年は0.8mm目合いの赤色防虫ネットを用いて風通し等のデータ収集を行う計画である。



【赤色防虫ネット】

## 売れる農畜産物づくり

### ■かき

#### 摘らい講習で大玉果・安定生産を

4/28～5/13にかけて、岐阜市、瑞穂市、本巣市、北方町のかき生産者やシルバー人材センターを対象とした摘らい講習会を9回開催した。加えて、5/17にはJA職員対象の摘らい講習会を行い、指導職員の技術向上も図った。

今後、着果状況を見ながら摘果を指導し、大玉で高品質なかき生産を目指していく。



【JA 職員への摘らい指導】

## 多様な担い手の育成・確保

### ■若手女性農業者支援

#### 若葉マーク農業女性研修会の開催準備

若手女性のネットワークづくりをねらいとする農家の若妻を対象とした研修会（推協共催）を計画しており、会場の下見やJ Aの女性関係課であるふれあい課との情報交換・調整を行った。

期日は6/21、会場はJ Aぎふのアグリパークで、女性農業経営アドバイザーへ講師の依頼をしており、よりよい活動となるよう、集団託児も準備して育児中でも参加しやすいよう対応する予定である。

### ■瑞穂市柿振興会

#### 産地のあり方を検討する諮問委員会開催

若手柿振興会員15名程度で構成する諮問委員会を設置し、これからの瑞穂市におけるかき産地のあり方を検討していく。5/9に第1回諮問委員会が開催され、農業普及課からは「かきの出荷量、生産者の年齢構成の推移」など現状を示すデータを提示し、産地の課題を明示した。委員からは、販売力を強化するPR方法、労働力補完体制、農地集積などやる気と熱意のある意見が多数出された。

### ■農事改良組合

#### （組合長会での情報提供）

農政推進のための重要な地縁組織である農事改良組合について、本巣地域（瑞穂市4/19、北方町4/23、本巣市4/24・26）や羽島地域（岐南町・笠松町共に4/26、羽島市5/15）における改良組合長会議への出席要請を受け、水稻除草剤の登録変更、ジャンボタニシ対策、個人育苗の低温への対処などの情報提供を行った。

## 魅力ある農村づくり

### ■小規模高齢化集落支援

#### 集落営農システム構築に向けた準備会議開催

4/26「集落農地を守る集落営農システム確立事業等に係る連絡会議」を行ない、対象地域についての情報交換や今後の進め方などについて意見交換を行った。

### ■北方町

#### なしカラス対策「くぐれんテグス君」設置！

5/28、鳥獣被害対策新技術実証事業として、農研機構等が開発した「くぐれんテグス君」を北方町のナシ園30aに設置した。これはテグスを先につけた4mの支柱を園の両脇に1mおきに設置して、カラスの侵入を防ぐ新技術である。北方町役場、J Aぎふ、農村振興課、農業経営課と協力してサイドネットを張りながら半日で設置した。農業者は「これでカラス被害が減る。」と大きな期待を寄せていた。今後は収穫時のカラス被害状況を調査して、効果を確認し現地普及を図る。



【くぐれんテグス君設置の様子】

### ■瑞穂市学校給食用野菜生産グループ

#### 給食センターとの連携強化

5/9 給食向け根深ねぎの栽培講習会を巣南支店で実施し、仮植、定植後の防除・追肥についての栽培指導を行った。

昨年のねぎの出荷実績は1,228kg(103%)だったが、年末～3月にかけての生産にはまだ余力があり、給食でのねぎ使用量が1,744kgもあるため、集荷枠を確保するよう生産農家からも意欲的な要望が出された。

